

サービス価値創造に特化したビジネスモデルを高く評価

—— ストリートメディア、安田企業投資株式会社に第三者割当増資を実施 ——

2009年12月14日

ストリートメディア株式会社(本社・東京都千代田区、代表取締役社長・大森洋三/以下ストリートメディアと表記)は、安田企業投資株式会社(本社・東京都千代田区、代表取締役社長・藤井常雄/以下安田企業投資と表記)の運営する安田企業投資4号投資事業有限責任組合に、第三者割当て増資を実施しました。

今回の増資総額は49,950,000円です。安田企業投資は、ブレイク間近と言われるデジタルサイネージ事業分野において先端を走り、具体的なサイネージの運営で実績を上げつつあるストリートメディアの力に着目、ベンチャーキャピタルとして今後の成長性を高く評価し今回の出資に至りました。

景気低迷の中、デジタルサイネージは新しいメディアとして注目を集めつつあります。そんな中、昨年4月に創業したストリートメディアは、昨年12月、経済産業省の支援を受けて神田地区の同社のデジタルサイネージ「Touch! ビジョン」へ地上波デジタル放送で配信、そしてサイネージに流れる映像に同期した携帯電話への情報取り込みに成功し、話題を集めました。以来、同社のエリアキャスト事業は着実に実績を積み、年末を控えた現在では、この神田地区ではリクルートの運営するホットペッパーの飲食情報携帯サイト「FooMoo」への「Touch! ビジョン」からの誘導など、地元商店街や飲食店と協力して好評裏に運営中です。また、秋葉原地区へも設置を拡げ、ソフマップ、アニメイト等の店頭におけるデジタルサイネージの展開が進んでいます。

一方、同社のカスタムメディア事業としては、10月から株式会社ニッセン(本社・京都市南区、代表取締役社長・佐村信哉/以下ニッセンと表記)が新規事業として展開をはじめた首都圏の大手書店の店頭50店にデジタルサイネージを設置し、映像とLED(文字)と、携帯電話を連動させた店頭メディア「ほんやチャンネル」の企画、運営を担当。大規模な実験がスタートしています。また、ガソリンスタンドのサービスステーションでのデジタルサイネージ展開でも、来年度の本格展開を前に運営実験に参画する等、急速に事業展開が進んでいます。

■お問い合わせ先

ストリートメディア株式会社 担当：廣瀬 純一(ひろせじゅんいち)

E-mail : info@streetmedia.co.jp

URL : <http://streetmedia.co.jp>